

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには、電気工事士の資格が必要です。
- 施工後、必ず施工主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書などをお渡しください。
- 保証書に必ず必要事項を記入してください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品

- 取付ネジ(M4×25).....4本
- 取付ネジ(M4×25).....4本
- 取扱説明書.....1冊
- 保証書.....1枚
- お客様ご相談窓口一覽表.....1枚
- 施工説明書(本紙).....1枚

安全上のご注意

警告

- 必ず電源(専用ブレーカーAC100V)および警報監視盤の電源を切った状態で施工してください。活線工事は感電や故障の原因となります。
- 水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(浴室など)には設置しないでください。感電の原因となります。
- AC100V用電源端子以外にAC100V用電源線を接続しないでください。発火・発煙の原因となります。
- AC100V用電源線は確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
- ヒューズ交換は電源(専用ブレーカーAC100V)および警報監視盤の電源を切った状態で行ってください。電源を切らないと、感電の原因となります。

施工上のご注意

- この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- 住戸番号の重複設定はしないでください。各警報および警報監視盤との通話ができなくなります。
- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

次のような場所には設置しないでください

(誤動作や故障の原因となります。)



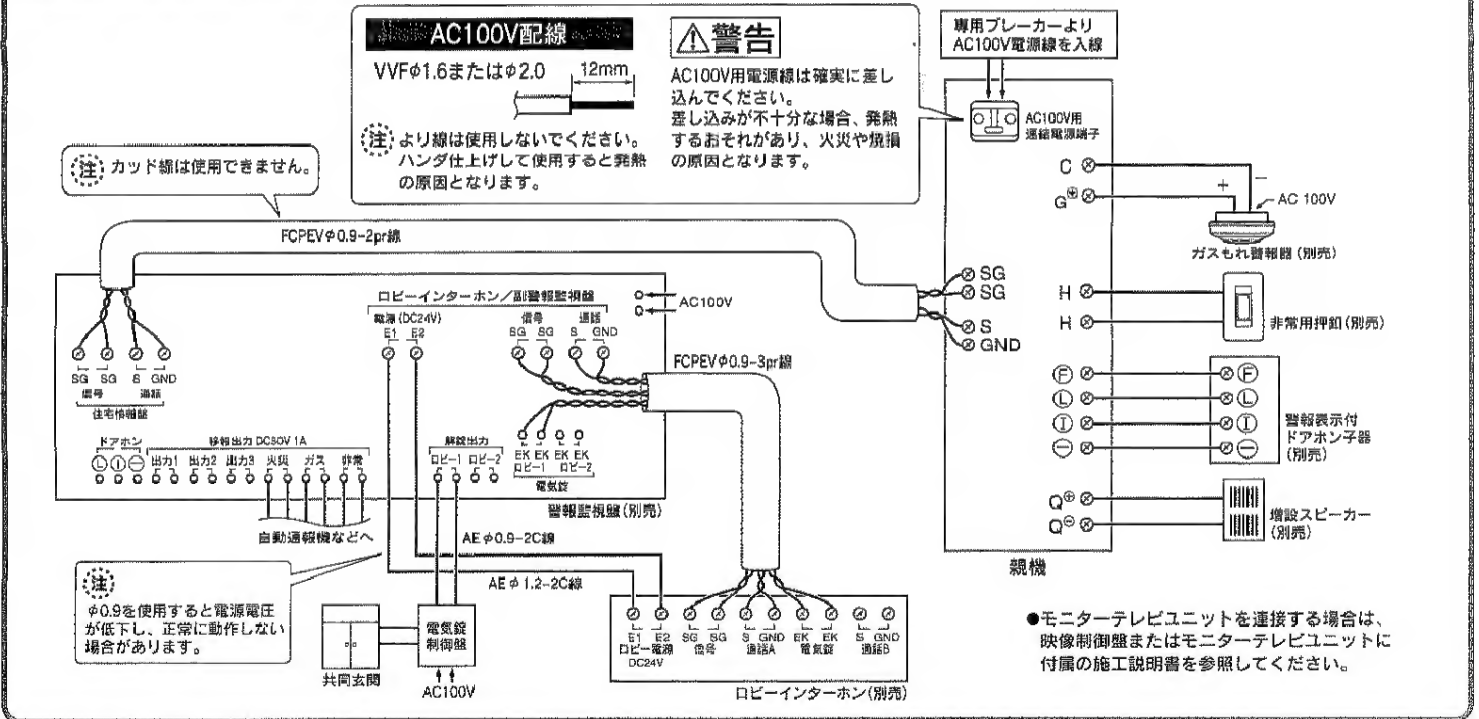
機能一覧

(機種により各機能がいない場合があります。)

機能	品番	SHN11203WKN	SHN10203WKN	SHN11103WKN	SHN10103WKN
通話		●	●	●	●
解錠		●	●	●	●
非常通報		●	●	●	●
ガスもれ警報		●	●	●	●
ガス機器異常警報		●	●	●	●

配線方法

- 接続する商品は別途お買い求めください。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
- 端子は連絡端子、◇端子はネジ端子を示します。



配線可能距離

使用電線	0.5mm ² またはφ0.8	0.75mm ² またはφ1.0	1.25mm ² またはφ1.2	FCPEVφ0.9-2pr線(必ずツイスト線をご利用ください。)
親機〜増設スピーカー	50m	75m	100m	—
親機〜警報表示付ドアホン子器、ガスもれ警報器、非常用押鈕	—	100m	—	—
生産終了品	—	—	—	最長300m以内

適合ガスもれ警報器

品名	信号の種類
ガス当番 都市ガス用	有電圧出力型
ガス当番 都市ガス(天然ガス)用 ※音声警報タイプも接続可能	平常時: DC6V ガスもれ警報時: DC12V 機器または配線異常時: 0V
ガス当番 都市ガス(重いガス)用	—

注: 不完全燃焼警報機能付(CO(一酸化炭素)警報機能付)ガスもれ警報器を接続した場合、不完全燃焼検知時、親機はガスもれ警報します。

		警 報 音		
		ガスもれ警報時	不完全燃焼 (CO) 警報時	機器または配線異常時
ガス当番 CO警報 機能付		ビッピッ ビッピッ ガスがもれてい ませんが。	ビッポッ・ビッポッ 空気が汚れて危険です。 窓を開けて換気してくだ さい。	—
親 機		ビッピッ ビッピッ ガス灯も黄色 点滅します。	ビッピッ ビッピッ ガス灯も黄色く 点滅します。	ビッピッ ビッピッ ガス灯も黄色く 点滅します。

この商品は生産終了につき

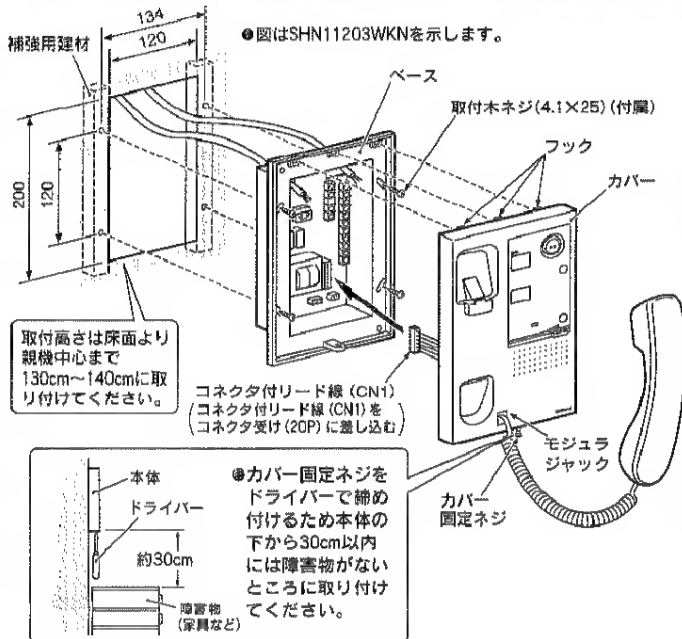
この商品は生産終了につき

取付方法

●コネクタを接続するときは電源(専用ブレーカーAC100V)および警報監視盤の電源を切った状態で接続してください。電源を切らないと、故障の原因となります。

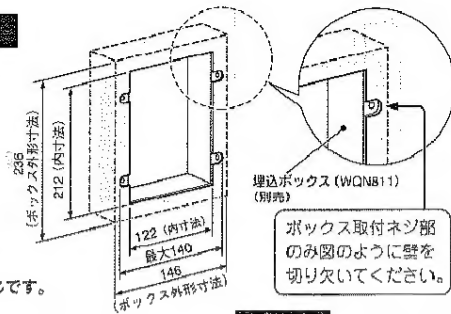
ボックスなし取付の場合

1. 壁面に下記寸法の穴をあけ、取付補強用建材を取り付ける。
2. カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
3. コネクタ付リード線(CN1)をはずし、カバーとベースを分離する。
4. ベースに電線を入線後、付属の取付木ネジ(4.1×25)4本で壁面に固定する。
5. 配線工事をする。(配線方法を参照してください。)
6. カバーのコネクタ付リード線(CN1)を、ベースのコネクタ受け(20P)に差し込む。
7. カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。



ボックス取付の場合

- 安全のため、埋込ボックスはD種(第三種)接地工事をしてください。(接地抵抗100Ω以下)
- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- ベースを取付ネジ(M4×25)4本でボックスに固定してください。そのほかはボックスなし取付と同じです。



- ユニット寸法はボックス外形寸法より上下左右2mmの余裕となっています。壁面加工時は十分注意してください。

ヒューズの交換方法(ベースの中にあります。)

注

ヒューズ交換はカバーをはずして行ってください。

警告

ヒューズ交換は電源(専用ブレーカーAC100V)および警報監視盤の電源を切った状態で行ってください。電源を切らないと、感電の原因となります。

交換ヒューズ

定格: AC125V 1A
サイズ: 20mm φ5
溶断特性: B種(普通型)

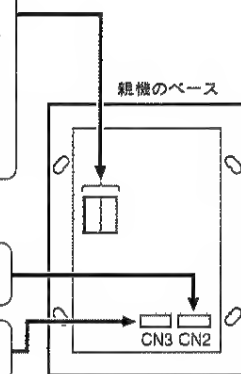
コネクタへの接続

モニターテレビ接続用コネクタ(CN2)

●モニターテレビユニットを接続する場合に使用します。

代表移報接続用コネクタ(CN3)

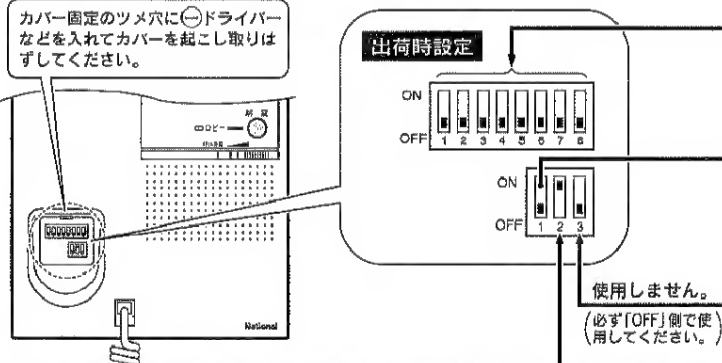
●代表移報出力を接続する場合に使用します。



機能設定

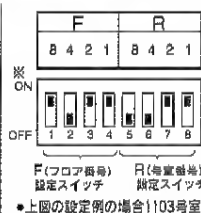
●機能設定時は電源(専用ブレーカーAC100V)および警報監視盤の電源を切った状態で行ってください。正しくデータ登録ができないため、正常な動作をしない場合があります。

カバー固定のツメ穴に○ドライバーなどを入れてカバーを起し取りはずしてください。



住戸番号の設定方法(スイッチ1~8)

- 1) F(フロア番号)設定スイッチで1~15階までのフロア番号を設定する。
- 2) R(号室番号)設定スイッチで1~15号室までの号室番号を設定する。
- 3) 警報監視盤の電源を入れる。電源を入れた後、警報監視盤側で設定する。
- 4) 1), 2)で設定されたインターホン(住戸)がロビーインターホンおよび警報監視盤で登録される。
- 5) 住戸番号の設定を確認する。



注 住戸を呼び出したとき、ロビーインターホンおよび警報監視盤の呼出住戸番号が消灯する場合は再度設定し直すか、または配線を確認してください。

15階または1フロアが15号室を超えると時の設定方法(スイッチ1, ページ設定スイッチ)

- 住戸番号を設定し、「ON」側にする。

注 警報監視盤の設定が必要です。

●警報監視盤側で「Aパターン」に設定されている場合

●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「1118号室」(03+15)

●警報監視盤側で「Bパターン」に設定されている場合

●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「2603号室」(11+15)

ガス機器異常警報機能の設定(スイッチ2)

- 2 ONのとき: ガス機器異常(断線およびガスもれ警報器取りはずし)が発生しても、警報しません。
- OFFのとき: ガス機器異常(断線およびガスもれ警報器取りはずし)が発生したとき、警報します。

項目	親機	増設スピーカ	警報表示付ドアホン子器	管理室移報
ガス機器異常	ガス灯	警報音	警報音	警報音
設定スイッチ2	OFF	点灯	ピー	ピー
	ON	消灯	—	—

※ガスもれ警報は設定の有無にかかわらず出力されます。

施工後の動作確認方法

●結線終了後、ガスもれ警報器の電源が入っていることを確認して、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。

異常時の点検

●ガス機器異常が復旧できない場合: ガスもれ警報器の電源が入っているか確認してください。